

# 〈履歴書・教育研究業績書記入要領〉

## 「共通」

本書類の記載内容について、虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることがありますので、必ず証書等により確認のうえ、記入してください。

- ・ 書式のサイズはA4です。
- ・ 押印は不要です。
- ・ 入力後、データを保存しておいてください。

## 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」について

- ・ 「事項」には、各区分に該当する担当授業科目等に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで通し番号を付して簡潔に記入してください。
- ・ 「年月日」には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事時期等を記入してください。
- ・ 「概要」には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。

**記入例** 詳細は4頁以降、**【1】～【12】**をご確認ください。

履 歴 書			
フリガナ <b>【1】</b> 戸籍氏名	例1)ショウワ ショウコ 昭和 昭子	例2) スミス オリビア SMITH Olivia	例3)チョウ ギョクレン 張 玉蓮
アルファベット表記	SHOWA Shoko		ZHANG Yulian
フリガナ 研究上の通称	レイワ ショウコ 令和 昭子		写真添付 <b>【2】</b> (4cm×3cm) 3か月以内に撮影した 写真 (上半身 無帽 正面 無背景)
アルファベット表記	REIWA Shoko		
国籍 <b>【4】</b> (外国籍の場合のみ 記入)	生年 月日 年齢	西暦 19〇〇年 10月 1日生 <b>【3】</b> (2025年3月31日現在満〇〇歳)	男・女
現住所			
電話番号	e-mail	@	
学 歴			
年 月(西暦)	事 項		
2000年3月	<b>【5】</b> 〇〇高等学校 卒業		
2000年4月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 入学		
2004年3月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 卒業		
2004年4月	〇〇大学〇〇大学院〇〇研究科〇〇専攻 修士課程 入学		
2006年3月	〇〇大学〇〇大学院〇〇研究科〇〇専攻 修士課程 修了 修士(〇〇学)		
2006年4月	〇〇大学〇〇大学院〇〇研究科〇〇専攻 博士後期課程 入学		
2008年3月	〇〇大学〇〇大学院〇〇研究科〇〇専攻 博士後期課程 単位修得満期退学		
2010年10月	課程博士(〇〇学)号取得		
2018年10月	論文博士(〇〇学)号取得 〇〇大学		
職 歴			
年 月(西暦)	事 項		
2008年4月	<b>【6】</b> 〇〇大学〇〇学部助手 (2014年3月まで)		
2014年4月	〇〇大学非常勤講師(〇〇学を担当) (2018年3月まで)		
2018年4月	〇〇大学専任講師(〇〇論、〇〇学等を担当) (現在に至る)		

**学会及び社会における活動等**

年 月	事 項
2014年4月 2017年4月	<b>【7】</b> ○○学会会員(現在に至る) ○○学会会○○委員(2018年3月まで)

**賞 罰**

年 月(西暦)	事 項
	<b>【8】</b>

**現在の職務の状況【9】**

勤 務 先	職 名	学部・学科等 (所属部局)の名称	担当授業科目名 又は職務内容	毎週担当授業時間数				備 考
				専任	兼任	兼任	計	
○○大学	教授	○○学部 ○○○学科	×××××× ×××××	前2 後4			前4 後4	
○○大学	教授	○○学部 △△△学科	××××		前2			
■■■大学	非常勤講師	□□学部 ●●●学科	××××××××			後1	前2 後1	
★★大学	非常勤講師	□□学部 ▲▲▲学科	×××××			前2		

本書類の記載内容については事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて承知します。

西暦 ○○○○年 ○○月 ○○日

氏 名 昭和 昭子

※ 賞罰・処分歴等欄には、過去にセクシャルハラスメントを含む性暴力等、ハラスメント等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。

**教育上の能力に関する事項【10】**

西暦 ○○○○年 ○○月 ○○日

氏 名 昭和 昭子

事項	年 月 日(西暦)	概 要
1 教育方法の実践例 1) ○○○○	○○○○年○月○日 ~○○○○年○月○日	
2 作成した教科書、教材 1) ○○○○ 2) ○○○○	○○○○年○月○日 ○○○○年○月○日	
3 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価 1) ○○○○	○○○○年○月○日	
4 実務の経験を有する者についての特記事項		

1) ○○○○	○○○年○月○日 ～○○○年○月○日	
2) ○○○○	○○○年○月○日 ～○○○年○月○日	
5 その他 1) ○○○○	○○○年○月○日 ～○○○年○月○日	

**職務上の実績に関する事項【11】**

事項	年 月 日(西暦)	概 要
1 資格、免許 1) ○○○○	○○○年○月○日 ～○○○年○月○日	
2 特許等 1) ○○○○	○○○年○月○日 ～○○○年○月○日	
3 実務の経験を有する者についての特記事項 1) ○○○○	○○○年○月○日	
4 その他 1) ○○○○	○○○年○月○日 ～○○○年○月○日	

**研究業績等に関する事項【12】**

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の別	発行又は発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
(著書) 1. ○○○○○○	単著	○○○年○月	○○○出版 全○頁	(200文字程度)
2. ○○○○	共著	○○○年○月	○○○出版 全○頁	(当該著書の概要:200文字程度) (担当部分概要:100文字程度) ○頁～○頁 共著者:○○○、○○○、○○○、○○○
(学術論文) 1. ○○○(査読付)	単著	○○○年○月	○○○学会誌 第○号 ○頁～○頁	(200文字程度)
2. ○○○○	共著	○○○年○月	○○研究 第○号 ○頁～○頁	(200文字程度) (共同研究につき、本人担当部分抽出不可能) 共著者:○○○、○○○、○○○、○○○
(その他) (口頭発表) 1. ○○○○	単独	○○○年○月	○○○学会 第○回大会	(200文字程度)

## 【1】氏名

1. 日本国籍の方は、戸籍のとおりに入力してください。アルファベット表記は、パスポートと同様に入力してください。
2. 戸籍上の氏名とは異なる姓名(旧姓や通称名)を使用する場合のみ、研究上の通称に入力してください。
3. 日本以外の国籍のみを有する方
  - ・ FAMILY(全て半角大文字で記載)、first Middle(頭文字のみ大文字)の順に入力してください。
  - ・ 漢字圏の国出身者は、アルファベット表記を入力してください。姓(半角大文字)+名(頭文字のみ大文字)の順に入力してください。氏名が英字の場合は不要です。

## 【2】写真

3か月以内に撮影した証明書用の顔写真を貼付してください。(スナップ写真の切り抜き、画像の印刷は不可)

## 【3】年齢

記入した年度末(3月31日)現在の満年齢を入力してください。

## 【4】国籍

外国籍である場合のみ、国籍(国名)を入力してください。

## 【5】学歴

1. 専任教員への応募については、高等学校卒業から入力してください。
2. 大学、短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する場合は、全ての学歴(学部、学科、研究科名等)について入力するとともに、**取得学位、称号**についても明記してください。
3. 博士課程修了に必要な単位を修得すると同時に学位(博士号)を授与されている場合は「修了」、博士の学位を授与されないまま退学した場合は、「**博士課程単位取得満期退学**」と入力してください。
4. 大学の別科、専攻科については「学歴」欄に、研究生、聴講生等は「職歴」欄に入力してください。
5. 学位、称号の他、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員、栄養士等の資格についても「学歴」欄に入力してください。この場合、**授与年月日、授与機関、登録番号等**を併記してください。また、**外国における資格**については、**正確に入力するとともに、その資格の内容と、その名称(原語)を併記してください。**
6. 外国留学歴については、学生としての留学の場合は「学歴」欄に、研究者としての留学の場合は「職歴」欄に入力してください。

### ※学位の記入について

1. 国内において、学位(博士、修士等)取得年月日が、1991年6月以前の場合は、「〇〇学博士、〇〇学修士」、7月以降の場合は、「博士(〇〇学)、修士(〇〇学)」と入力してください。  
博士の学位については、課程又は論文の別を入力してください。なお、論文博士の場合は、授与大学名も入力してください。

## 【6】職歴

1. すべての職歴(自営業、主婦、無職等)について空白期間のないよう入力するとともに、職名、職位についても明記してください。
2. 各職歴について、在職期間が明確になるように「〇〇年〇〇月まで」と入力、**現職については必ず「現在に至る」と明記してください。**
3. 大学教員の職歴については、主な担当科目を2~3科目( )書きで併記してください。
4. 過去に大学設置・学校法人審議会(旧大学設置委員会を含む)の教員審査において、教員の資格があると認められた場合は、当該審査の時期、大学の名称、専任・兼任・兼任の別、職位及び担当授業科目名(大学院にあっては、判定結果を含む)を入力してください。

## 【7】学会及び社会における活動等

1. 本人の専攻、研究分野等に関連する所属学会名(正式名称)、会員、役員の別、期間がある場合はその期間を入力してください。**現在も所属している場合は「現在に至る」と明記してください。**
2. 教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に入力してください。

- ・ 学会における調査、探検、委員会活動等。
- ・ 全国の研究機関、官庁などの委嘱による調査や委員活動、科学研究費等助成金の配分を受けたこと等。
- ・ その他の全国又は県単位の組織の役員及び委員活動等。

## 【8】賞罰

賞罰・処分歴欄には、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入してください。

## 【9】現在の職務の状況

1. 記入日現在における職務の状況(学部、短大、他大学、企業等を含む)について記入してください。
2. 教員以外の場合は、勤務先、職名と、職務の内容を簡潔に記入してください。
3. 職名については、大学等の教員の場合は、「教授」「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」「理事」等を記入してください。職名がない場合は「－」を記入してください。
4. 毎週担当授業時間数欄については、当該科目が前期又は後期のみ開講の場合は、前期又は後期の時間数(「前」又は「後」を併記)を記入してください。
5. 「専任・兼任・兼任の別」の欄については、当該大学の専任の教員が2以上の学部の学科、短期大学の学科若しくは大学院の専攻にわたり授業を行なう場合には、1の学科等に限り専任となり、その他の学科等においては兼任となり、所属が他の大学又は企業等の場合は、兼任となります。
6. 記入欄が不足する場合は適宜追加してください。

## 【10】教育上の能力に関する事項

1. 教育方法の実践例
  - ・ 優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法等
  - ・ 授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開等
  - ・ 司法研修所、法務総合研究所等の教育機関における教育経験等
2. 作成した教科書、教材
  - ・ 教科書として使用している著書、教材等  
(「著書、学術論文」との重複も可。その場合、「(再掲)」と明記してください。)
3. 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価
  - ・ 各大学での自己点検・評価での評価結果
  - ・ 採用決定の際等における評価内容
  - ・ 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果
  - ・ 上記以外で学長、学部長、諸機関等が行った評価結果等
4. 実務の経験を有する者についての特記事項
  - ・ 大学から受け入れた実習生等に対する指導
  - ・ 企業内教育、大学の公開講座、社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等
  - ・ 上記のほか、所属機関や関係機関等における講義、講習、職員・関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等を広く記載してください。

※ 上記にとらわれず、積極的に記載してください。
5. その他
  - ・ 大学教育に関する団体等における活動
  - ・ 教育実績に対する表彰等
  - ・ 国家試験問題の作成等

## 【11】職務上の実績に関する事項

1. 資格、免許
  - ・ 資格、免許で担当授業科目等に関連するもの(登録番号等を明記)
  - ・ 医師免許、司法試験合格、教員免許等についても該当があれば記入してください。

## 2. 特許等

- ・ 特許、実用新案等で担当授業科目等に関連するもの

## 3. 実務の経験を有する者についての特記事項

- ・ 実務の経験を有する者について、履歴書の「職歴」に記入した事項を中心に、担当授業科目等に関連するものを、以下の例を参考に記入してください。

### ○企業、官公庁等の研究者の場合

- ・ 開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要
- ・ 大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割

### ○その他、企業・団体等関係者

- ・ 国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績

### ○情報技術者関係の場合

- ・ コンピュータに係る職務歴(職務上のコンピュータ活用法、ソフト・システム開発歴)

### ○マスコミ関係者の場合

- ・ 執筆した記事の概要
- ・ 制作した番組の概要

### ○医師や看護師等医療技術者の場合

- ・ 症例研究会での発表等の活動

### ○福祉その他社会活動の関係者の場合

- ・ 参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位

### ○スポーツ等実技関係者の場合

- ・ 指導者としての経歴・実績・資格

### ○芸術関係者の場合

- ・ 作品の概要

### ○博物館、美術館等関係者の場合

- ・ 担当した展覧会の概要
- ・ 執筆・監修した展覧会図録の概要

### ○その他全般を通じて

- ・ 大学から受け入れた実習生に対する指導歴(看護・福祉実習、企業実習等)
- ・ 企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要

## 4. その他

1～3に該当するもの以外の事項について幅広く記入してください。

## 【12】研究業績等に関する事項

**「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。**

### 1. 著書、学術論文等の名称

- ・ (著書)、(学術論文)、(その他)の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
- ・ 音楽関係の場合は、(著書)、(学術論文)、(演奏)、(作曲)、(指揮)、(CD 等製作)及び(その他)の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
- ・ 美術の場合は、(著書)、(学術論文)、(出品:個展等も含む)及び(その他)の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
- ・ 著書については、専門書及び大学の教科書として刊行されたもの、辞典、訳書、編著等の書名を記入してください。
- ・ 学術論文については、学会誌、専門誌又は大学ないしこれに準ずる機関の研究報告に学術論文として発表したものの題名を記入してください。
- ・ 学位論文については、題名の後に「(修士論文)」及び「(博士論文)」と記載してください。
- ・ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。

- ・ その他については、放送又は講演、研究発表など口頭による発表にあたっては当該テーマを、書評等、著書・学術論文以外の業績等にあたっては当該タイトルを記入してください。

## 2. 単著、共著の別

- ・ 当該著書等に記載された著作者が単独である場合には、「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。なお、学会発表等の場合は「－」を記入してください。

## 3. 発行又は発表年月

- ・ 当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。

## 4. 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称

- ・ 著書については、発行所を記入してください。
- ・ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
- ・ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。

## 5. 概要

- ・ 当該著書等の概要を 200 文字程度で記入してください。
- ・ 当該著書等が共著の場合には、当該著書の概要(200 文字程度)のほか、以下の事項を記入してください。
  - ※ 本人の担当部分の概要(100 文字程度)及び章、節、題名、掲載ページ(本人の担当部分を抽出できない場合は、これらの代わりに担当部分を抽出できない理由を記入すること)。
  - ※ 本人の氏名(下線を付すこと)を含む著作者全員の氏名を当該著書等に記入された順に記入すること(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)。